

2024 年 1 月 26 日

各 位

金沢信用金庫

中小企業景気動向調査の結果について

このたびの地震で被災された皆さまに謹んでお見舞いを申し上げます。一日も早く復旧されますよう、心よりお祈り申し上げます。

金沢信用金庫（理事長 広岡 克憲）では、中小企業景気動向調査を四半期毎に実施しています。つきましては、今期（2023 年 10～12 月）の調査結果を下記のとおりご案内いたします。

（注）この調査結果は 2023 年 12 月時点でのものであり、このたびの震災の影響については調査結果に反映されておりませんのでご注意ください。

記

概況 [業況のみ改善、売上額・収益ともに悪化]

金沢信用金庫が行った中小企業 157 社の景気動向調査（調査回答先：金沢市中心の業務区域内 200 社・回答率 78.5%）の概況は次のとおりです。

今期の全産業ベースの業況判断 D I（「良い」・「やや良い」－「悪い」・「やや悪い」の構成比、以下同じ）は 2.5（前期▲4.2）と 6.7 ㊦改善しました。

業種別では、卸売業が▲6.3（前期▲6.7）と 0.4 ㊦、ほか、建設業が 23.1（前期 7.4）と 15.7 ㊦、サービス業が 12.0（前期▲17.9）と 29.9 ㊦改善しましたが、製造業が▲2.2（前期 0.0）と 2.2 ㊦、ほか、小売業が▲13.3（前期▲12.5）と 0.8 ㊦悪化しました。不動産業は 7.1（前期 7.1）と前期を維持しています。全産業ベースでの来期予想 D I は▲14.0 と 16.6 ㊦の悪化を予想しています。

また、全産業ベースの売上額判断 D I は 3.8（前期 10.7）と 6.9 ㊦悪化し、収益判断 D I も▲7.6（前期▲4.2）と 3.4 ㊦悪化しました。来期予想では、売上額判断 D I が▲15.3 と 19.1 ㊦の悪化と、収益判断 D I も▲18.5 と 10.8 ㊦の悪化を予想しています。

今回の調査で経営上の問題点として最も多かった回答は「売上の停滞・減少」（全回答中 39.5%）で、以下、「人手不足」（全回答中 32.5%）、「原材料高」（全回答中 28.0%）となりました。また、当面の重点経営施策として最も多かった回答は「経費を節減する」（全回答中 47.8%）で、以下、「人材を確保する」（全回答中 36.9%）、「販路を広げる」（全回答中 35.7%）という結果となりました。

（注）2023 年 7～9 月を前期、2023 年 10～12 月を今期、2024 年 1～3 月を来期といいます。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

金沢信用金庫 営業店サポート部

〒920-8710 金沢市南町 1-1

TEL (076) 231-0274 (ダイヤルイン)

FAX (076) 231-7864

<http://www.shinkin.co.jp/kanazawa/>